

第1回 国営沖縄記念公園（海洋博地区）魅力向上推進協議会 ＜議事要旨＞

■日時：令和6年12月26日（木）13:30～15:00

■場所：国営沖縄記念公園事務所

■国営沖縄記念公園（海洋博地区）魅力向上推進協議会の設置について

○協議会の規約について原案のとおり了承された。

■園内移動手段（C+walk、シェアサイクル）について

- 11月1日からC+walkの本格運行を開始している。利用料金は1時間500円、3時間1,000円の設定。興味を持たれる方が利用している傾向にある。
- 公園全体を楽しませることが大切で、特に南側の利用者が少ないので、公園内の回遊性を高める実証実験はとても良い。
- 回遊性の確保というのは、収益も大事だが、利用者サービスの一環として、やらなければならないと思う。

■意見交換

【地域との連携】

- 観光施設としての公園のイメージが強いので、地域の学校利用や地域の方が普段使いの気軽に来て楽しめる公園を目指したい。
- 町の特産品を来園者にもっと提供できるようなシステムができればいいと思う。また、地域の伝統芸能を披露できる場として公園をもっと活用したい。
- 町全体と公園が一体化した町づくりを強めていきたい。公園そのものが町の財産であり、公園の集客を地域にどう還元していただけるのかという興味もある。町まるごとテーマパークとの認識で、集客力を高めるために、町全体をきれいにする取組も行っている。
- 本部町では、「本部町・食と文化フェスタ」という食と文化と体験、特産品の販売等の企画について美ら島財団と調整を始めている。地域住民と観光客の連携を強化し、公園を利活用しながら、伝統芸能・食文化体験を通じて、観光文化の町である本部町の魅力を発信することを目指している。
- 地域のサークル活動を通して、おじい、おばあの健康につながり元気になれる公園づくりを目指したい。
- 美ら島財団は総合研究施設を持っており、研究成果を活かして、地域や修学旅行に対して学びの場を提供できると考えている。
- 本部町では「もったいないプロジェクト」に取り組んでいる。宿泊や食事、お土産等

を、もう一つ追加で楽しんでもらおうというプロジェクト。
本プロジェクトを通して公園の活用を広めたい。

【周辺観光施設との関係】

- 伊江島が見える景観、保護された自然、学習の場など公園全体のスケールで打ち出していくことが大事。公園全体の魅力を高めていく方法を協議会で議論したい。ジャングリアとの相乗効果により本部半島を周遊できる仕組みづくりを考えたい。
- ジャングリアの渋滞対策について様々な協議を行っているところ。土木建築部だけではなく観光部局とも連携して対応していきたい。また、海洋博開催50周年記念事業を計画しているところである。
- ジャングリアと情報を共有して、北部を周遊してもらうような連携体制を構築していくことが重要。
- 特に南側エリアの活用について、近隣ホテルで作っている協議会でも情報共有や企画提案を行っていききたい。コロナ明けにホテルに宿泊した修学旅行にロゲーニングを実施し好評であった。このような新しい提案を考えていきたい。

【公園南側エリアの活性化】

- 高速艇が山川港に就航する話があるので、将来的にクリスタルゲートを南側の玄関口として活用できれば、熱帯ドリームセンターなど公園の南側の施設の活性化に繋がるのではないかと。
- 水族館以外の施設の利用が伸びないことが課題。地域と関連性のあるイベントを実施することで利用を増やしていきたい。
- 高齢者の健康作りという観点もあり、北部地域はパークゴルフブームであるため、熱帯・亜熱帯ゾーン再整備において、本当に楽しめるコースを整備すれば、地域活動の拠点になる。
- 熱帯・亜熱帯ゾーン（熱帯ドリームセンター、夕日の広場、都市緑化植物園）の再整備について、今年度も検討を進めていくので本部町のご意見も伺いたい。

【来園者満足度の向上】

- コロナ禍を経て観光客が戻りつつあり、オーバーツーリズムへの対応も考える必要がある。
- 公園利用者の増も需要であるが、利用者アンケートの意見や要望を取り入れて、小さなことから利用者の満足度の向上、質の向上に務めることも重要。
- 韓国、台湾、香港の方は多いが、中国の方があまり来ていないのが一番の課題。欧米の方はけっこう歩いている。

【その他】

- 本協議会は年数回の開催を予定している。議論したいテーマがあれば協議会事務局へ提案していただきたい。